



plugmon.jp

Eclipse for Hive

Userguide

The screenshot displays the Hive synthesizer interface with the following sections:

- Top Bar:** CPU/MIDI status, Amp Envelope 2 Release, 30.00 BPM, TRSP 00, VOC 8, and Output settings.
- OSC1 & OSC2:** Two oscillator sections. OSC1 is set to 'Flow' with 'Wavetable OSC' and 'Sub OSC' (FM). OSC2 is set to 'Random' with 'Wavetable OSC' and 'Sub OSC' (Sine Oct to Fizz.wav). Both have 'Unison: 2', 'Oct: 0', and 'Semi: 0'.
- Filters:** Filter1 (LP12) and Filter2 (Bypass) with Cutoff, Reso, and Volume controls.
- Envelope & Modulation:** AMP1 and AMP2 sections with A, D, S, R, Trig sliders and Gate buttons. MOD1 and MOD2 sections with A, D, S, R, Trig sliders and Gate buttons.
- LFOs:** LFO1 (Gate) and LFO2 (Sync) with Rate and Phase controls.
- Sequencer:** A sequencer section with 'Rotate', 'Play', 'Record', 'Attack', 'Decay', 'Gate', and 'Press.' controls, and a piano roll display.
- Arpeggiator:** An arpeggiator section with 'serial', 'Order', 'Octave', and 'Frames' controls.
- FX & Clock:** FX (SQ, XY) section with Vibrato and Glide controls. Clock section with Timebase, Multiply, and Swing controls.
- Engine:** Engine settings including Normal, Dirty, Clean, Link, None, All, Half, and Amp.

version 1.0 (2018)

- ・ テーマのインストール
- ・ ウェイブテーブルのインストール
- ・ 基本構造
- ・ あのノブどこ？
- ・ 追加機能
- ・ サウンドセット
- ・ ウェイブテーブル
- ・ アップデート

テーマのインストール

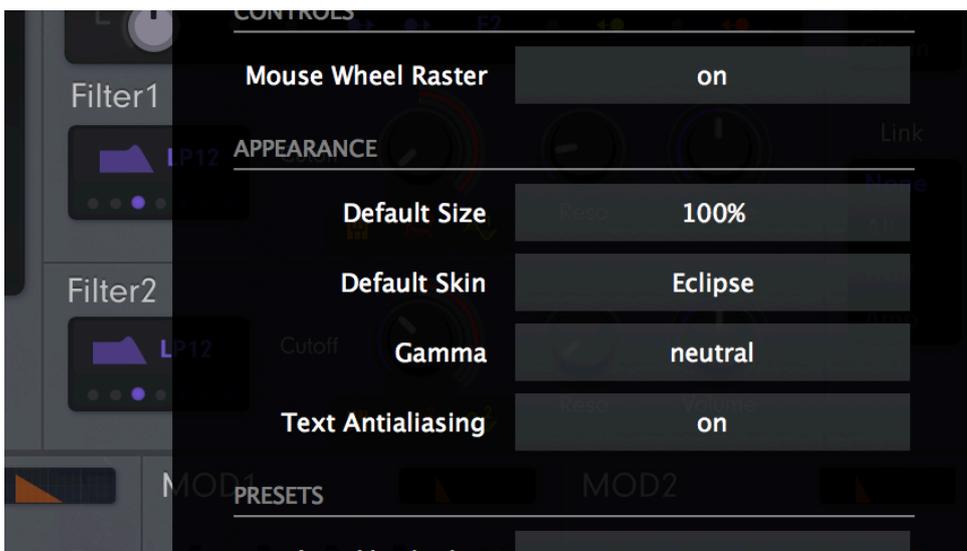
macOS

1. "Macintosh HD/Library/Application Support/u-he/Themes" のフォルダにアクセスし、テーマフォルダをドロップします。
2. Hiveを開きます。
3. 右上の歯車アイコンをクリックし、環境設定を開きます。
4. 「Default Skin」の項目で、“Eclipse”を選択します。

Windows

1. Hiveフォルダを見つけます。通常であれば"C:\VSTPlugins\u-he:Hive.data"にあります。
2. "Support:Themes"に移動し、テーマフォルダをドロップします。もしそのようなフォルダがない場合には、自分で新規作成します。
3. Hiveを開きます。
4. 右上の歯車アイコンをクリックし、環境設定を開きます。
5. 「Default Skin」の項目で、“Eclipse”を選択します。

※テーマをたくさんインストールすると、GUI読み込みが遅くなる可能性があります。



ウェーブテーブルのインストール

Eclipseのサウンドセットにおいては、60個のカスタムウェーブテーブルが使用されています。プリセットを読み込むには、このウェーブテーブルもインストールする必要があります。

macOS

"Macintosh HD/Library/Application Support/u-he/Hive/Wavetables"へ行き、そこへウェーブテーブルフォルダをドロップしてください。

Windows

"C:\VSTPlugins\u-he\Hive.data\Wavetables"へ行き、そこへウェーブテーブルフォルダをドロップしてください。

ウェーブテーブルのリスキャン

念のため、HIVE上でウェーブテーブルのリスキャンを行うと安心です。ウェーブテーブルセレクターのメニュー上で、"**refresh wavetables**"を選択すると再スキャンが行われます。



ウェイブテーブルの管理について

Hiveはどのようにウェイブテーブルを管理しているのでしょうか。UrsはKVR(掲示板)で以下のよう
に述べています：

Currently wavetables are identified solely by their filename and location. If a wavetable isn't found where it was when saving a preset, the engine looks into the preset directory first. Then checks any other directory within the wavetables folder.

(Quoted from a KVR Thread)

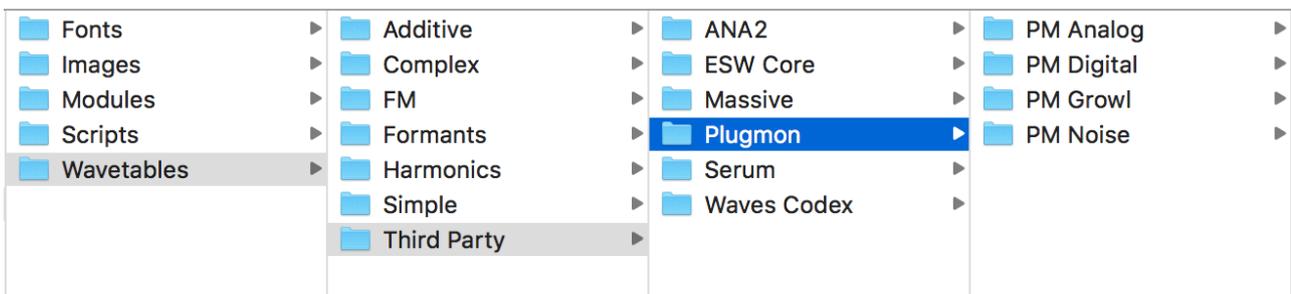
名前とフォルダ位置が管理の基準になっており、賢いことにフォルダが見つからない場合には違
うフォルダまでウェイブテーブルを探しに行くとのこと。

それゆえ、“Wavetable”のフォルダ内にあること、ファイル名が変更されていないことの2つを満
たせば、フォルダ名は変更されても大丈夫ということです。

フォルダ構造を再現する

たまに、フォルダ名の取得に失敗し、**<empty>** と表示されることがありますが、ウェイブテー
ブルは問題なく読み込まれます。

もし<empty>問題を解決したい場合には、フォルダ構造を再現することでこの問題を回避できる
場合があります。

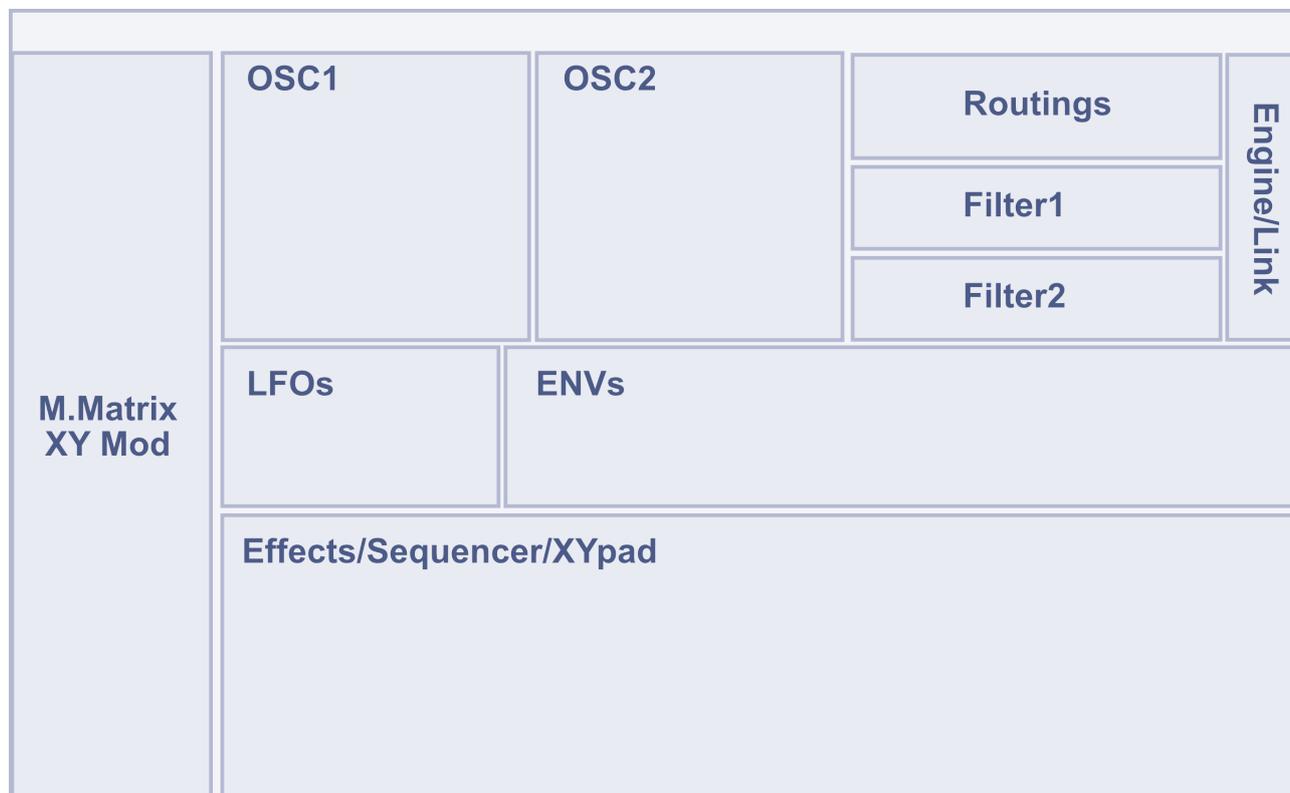


"Wavetables/Third Party/Plugmon"

Ursは今後のアップデートでより管理方法を改善すると述べています。

基本構造

EclipseはSerumやMassiveのように、左右非対称のデザインを採用しています。シンプルなので、作りに迷うことはないでしょう。



あのノブどこ?

このセクションでは、場所が変わってしまって最初は見逃しそうなパラメータについて説明します。GUIをシンプルに保つために、いくつかのボタンは完全にボタンではなくなっています。

プリセット呼び出し

モジュールプリセットを呼び出すには、各セクションの**タイトル**をクリックします。



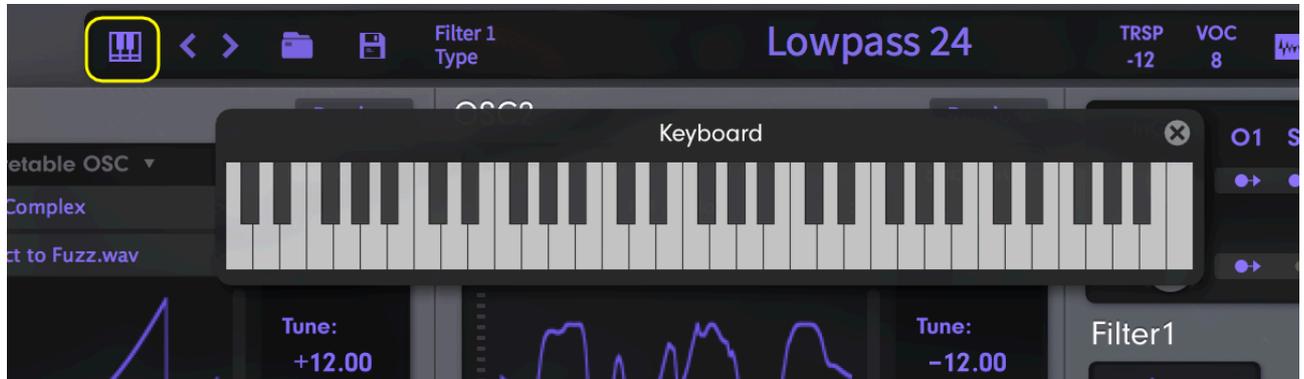
音量ソロ

ソロをオンにするには、“**Volume**”のラベルをクリックします。ソロがオンになっている時は、Volumeのラベルおよびノブの周りのリングが黄色になります。



キーボード

キーボードはGUIから取り除かれていますが、ヘッダーの鍵盤アイコンをクリックすることで、ポップアップキーボードを呼び出すことができます。



Transpose / Voices / Voicemode

これら3つのパラメータもまた、ヘッダーに配置されています。



Voicemodeはアイコンによって提示されます。

Mode	poly	mono	legato	duo
Icon				

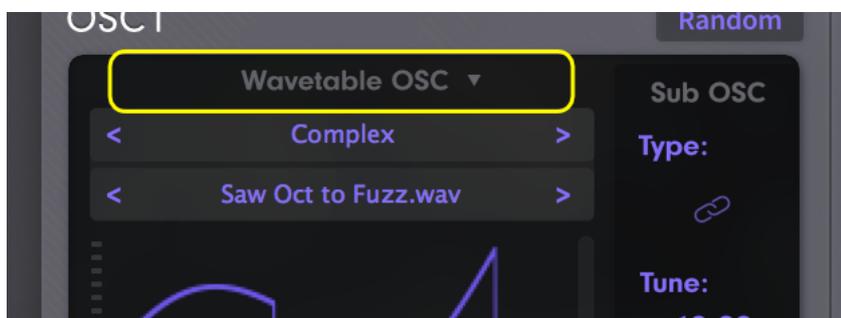
ウェーブテーブルエディタ

OSCパネルの小さなアイコンをクリックすることで、詳細なウェーブテーブルエディタを開くことができます。



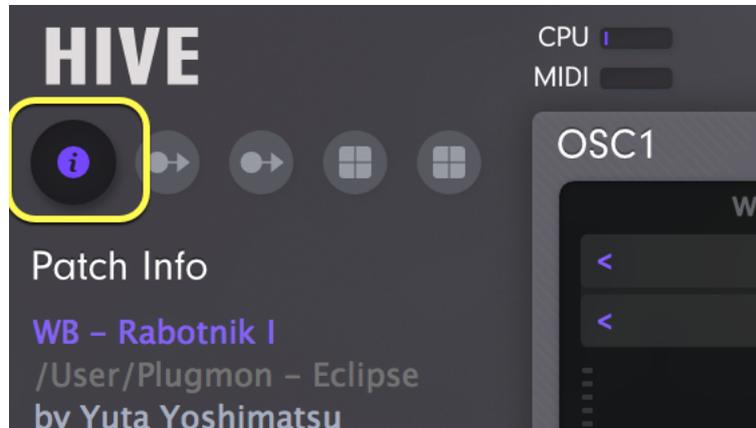
ウェーブテーブルモードからの脱出

ウェーブテーブルをやめてスタンダードOSCに戻る際には、"Wavetable OSC"と書かれたエリアをクリックします。



マイクロチューニングとファインチューン

このパラメータを使うことは非常に稀と考えているので、かなり隅の方に移動されています：インフォパネルです。



この左のパネルではMODマトリックスやXYの操作が可能なのですが、一番左のタブであるインフォパネルの下の方にパラメータが配置されています。

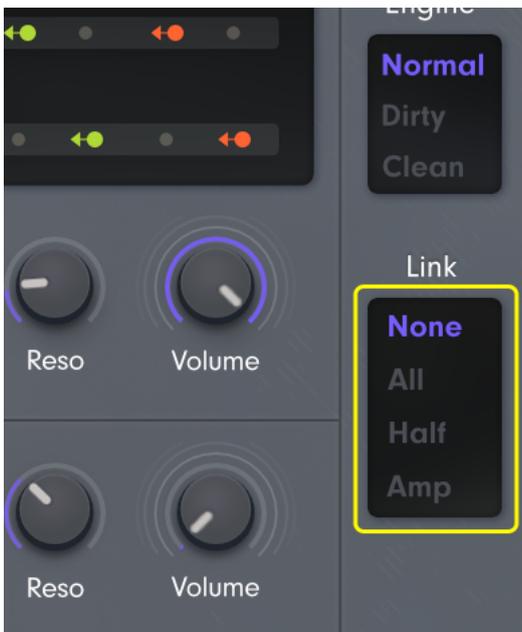


HIVEのバージョン情報、およびEclipseスキンのバージョン情報もここに記されています。

追加機能

U-heのGUI言語を極限まで活用し、Eclipseはオリジナルスキンにはない幾つかの機能を獲得しています。

リンク方式の選択

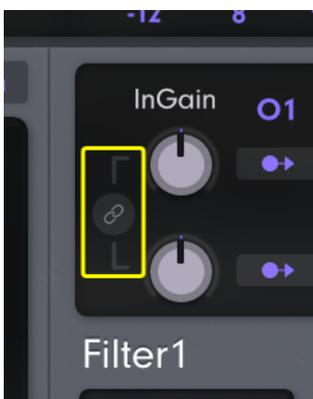


Hiveのリンク機能は便利ですが、モジュールのうち一部分だけをリンクしたいという時があります。完全に詳細な選択はできないものの、Eclipseでは3種類のリンク方法が選べます：All / Half / Amp です。

“Half”は「モジュレータのみ」ということであり、LFO・Amp・Envがこれに該当します。

追加のリンクコントロール

Eclipseは (1)Filterインプット, (2)ビブラート, (3)モッドマトリックスにおいて**追加のリンク機能**を搭載しています。



一見ボタンに見えるこのリンクマークは、**ノブです!**

ハイライトしたエリアが全てドラッグ可能ゾーンになっていて、ここをドラッグすることで2つのノブを同時にコントロールすることができます。

アイドル・インジケータ

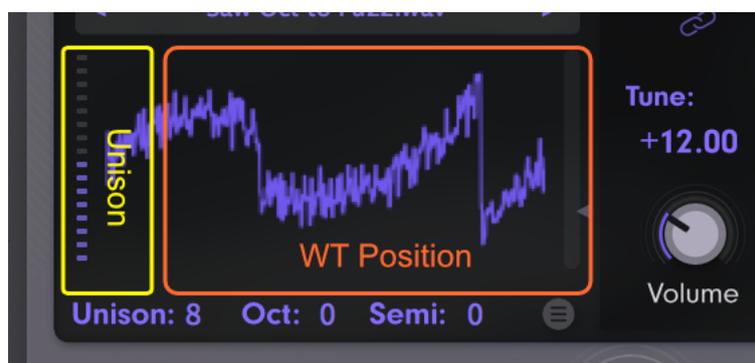
あなたはきっと、OSCを編集して、何も変化が起こらず、おかしいなと思ったらどこにもルーティングされていなかったという悲しい経験をしたことがあるのではないのでしょうか？

Eclipseではこれは起こりません。OSCがどちらのフィルターにも出力されていない場合、月のマークが表示されます。このマークがあったら、そのOSCは非使用状態であるということです。



ユニゾンとWTのスライダー

波形パネルはノブの役割を果たしていて、ユニゾンとWTposをドラッグで変更できます。



この2つのスライダーが、見た目よりもずっと大きい”当たり判定”を有していることを知っておくと、作業が捗ります。

整数単位でのサブOSCチューニング

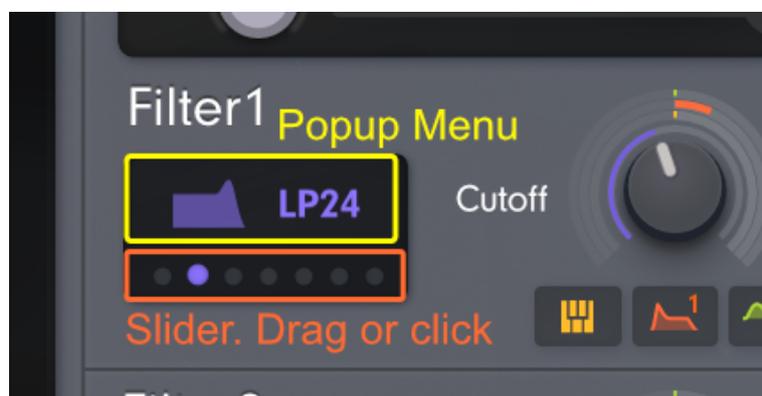
サブオシレータのチューニングを、Massiveのように整数単位で調整したいと思いませんか? Eclipseではこれが可能です。



*このディスプレイは0.2刻みが最小単位となっています。もしShiftドラッグで微調整を行った場合、それはここには反映されないことに注意してください。トッパーのインフォディスプレイで実際の数値が確認できます。

モード・スライダー

例えばLP24とLP12を比較したいとき、いちいちメニューをクリックで開くのは大変ですよね。Eclipseでは、スライダーによってモード変更が可能です。



スライダー式のシーケンサー

“Massive Modular”スキンで好評を博したシーケンサーは、Eclipseにも健在です!

ループレンジとトランスポーズはスライダーとして機能します。ドラッグするだけでよいのです!
もうクリック、クリック、クリックの連続は必要ないのです。



そうはいえたった120ピクセルぶんの高さに格納されているので、ぴったりの値を当てるのは大変です。クリックしたらホールドし、そのままドラッグして値をセットするとよいでしょう。

Ring & Boxスタイルのモジュレーション

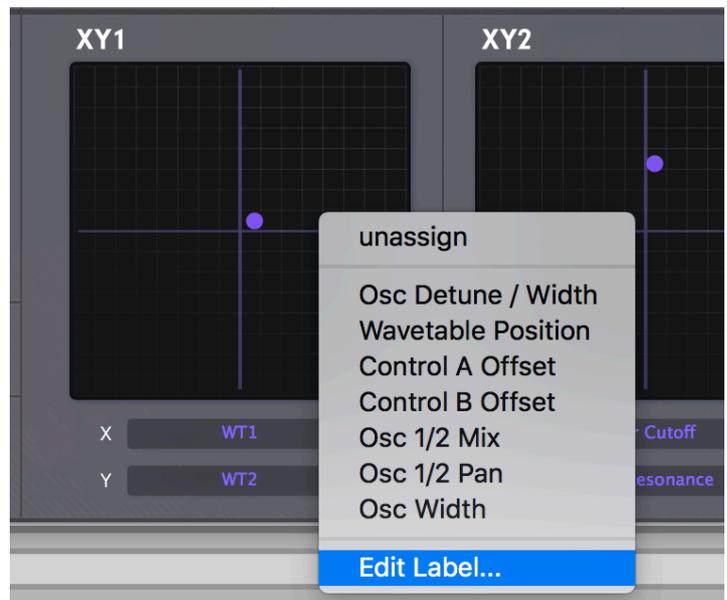
フィルターカットオフでは、特殊なUIが採用されています。**ボックスをドラッグ**してモッドデプスを変更し、リングはあくまでも視覚上の確認用という棲み分けになっています。



LFOとENVは1/2どちらをソースに取っているかがここで確認できますが、変更についてはルーティングミキサーの方で行う必要があります。

XYエディター

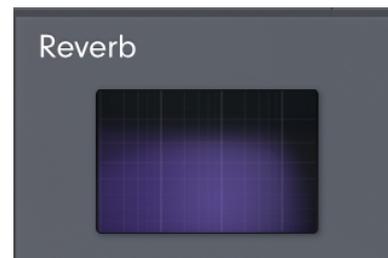
XYは、パフォーマンス部分とアサイン部分が切り分けられており、アサインは左パネルから行います。



リバーブの視覚フィードバック

リバーブモジュールには小さな視覚フィードバックパネルが搭載されていて、おおよそのサウンドイメージを教えてください。

この画面は、Size/Decay/Tone/Dampの4パラメータを合算したものです。言い換えれば、Mix/Pre/Widthは反映されません。



この画面は、XYパッド(X: Decay / Y: Size)としても機能します。この2パラメータのバランスはリバーブサウンドの基礎ですので、その調整にたいへん役立ちます。

コンプレッサーのMixノブ



コンプレッサーには、パラレルコンプレッションを可能にする「Mix」のノブが追加されています。なぜかオリジナルスキンでは”隠しパラメータ”になっており、モッドマトリックスとConstを組み合わせないと値がコントロールできないようになっていました。

Eclipseでは、ちょうど場所も余っていたので、これをノブとして配置しました。

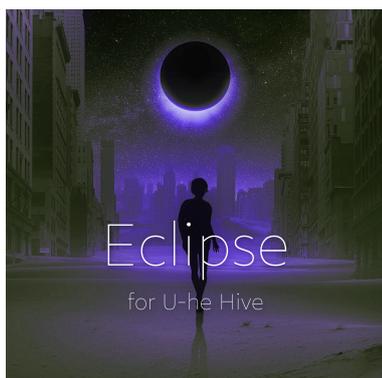
注意点があります：このパラメータを編集したプリセットを公に配布した場合、Eclipseスキンを持たないユーザーがこのパラメータを確認/編集することは極めて困難である(DAWのオートメーション機能を使うなどしかない)ということです。

エンヴェロープ・グラフ

ADSRもまた簡易的なグラフを用意しています。これは完全に確認用であり、編集はできません。



Eclipseサウンドセット



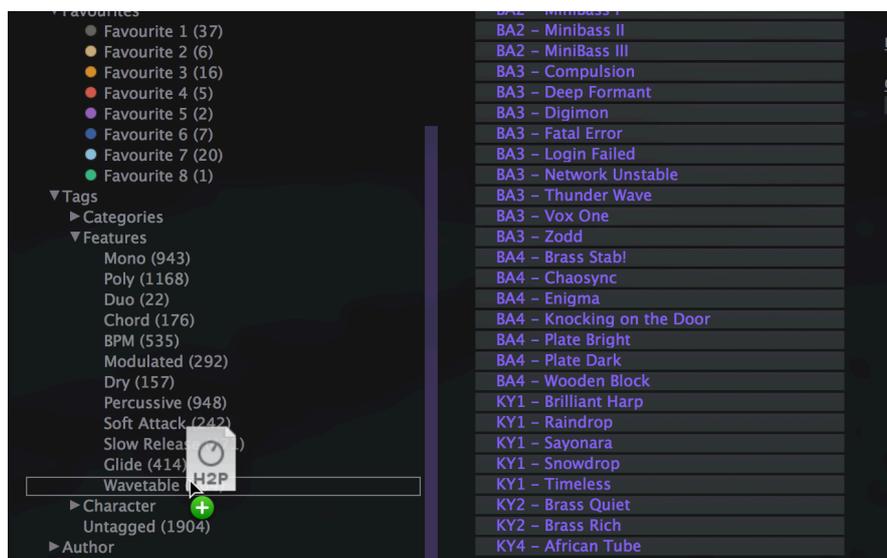
Eclipseスキンにはサウンドセットが付属します。ウェイブテーブルをフィーチャーした、多目的なサウンドセットです。ぐんぐん変化するパッド、うねり動くベース、リアルな楽器の模倣などがアピールポイントです。

全プリセットがモッドホイールによるモーフに対応し、XYパッドがアサインされ、またタグ付けがなされています。

"Wavetable"タグ

ファクトリープリセットではウェイブテーブルを使ったプリセットには"Wavetable"のタグが付いていますが、Eclipseプリセットたちにそのタグは付いていません。中にはファクトリープリセットとサードパーティーをしっかりと区別したい人がいるかもしれないことを想定してです。もしEclipseのプリセットにも"Wavetable"のタグをつけたのであれば、簡単にまとめてタグングができます。

1. フォルダ画面をスクロールし、"Tags"のところまで降ります。
2. Tagsを開き、"Features"、そして"Wavetable"のタグまで開きます。
3. 最初のプリセットをクリック、最後のプリセットをShiftクリックで、全部選択します。
4. プリセットを全て"Wavetable"のタグにドロップします。



プリセット一覧

BASSES

BA1 - Subbass D
BA1 - Subbass S
BA1 - Subbass T
BA1 - Tri This
BA2 - Classic
BA2 - Dark Energy I
BA2 - Dark Energy II
BA2 - Man Eater
BA2 - MiniBass I
BA2 - MiniBass II
BA2 - MiniBass III
BA3 - Compulsion
BA3 - Deep Formant
BA3 - Digimon
BA3 - Fatal Error
BA3 - Login Failed
BA3 - Network Unstable
BA3 - Thunder Wave
BA3 - Vox One
BA3 - Zodd
BA4 - Brass Stab!
BA4 - Chaosync
BA4 - Enigma
BA4 - Knocking on the Door
BA4 - Plate Bright
BA4 - Plate Dark
BA4 - Wooden Block

KEYS

KY1 - Brilliant Harp
KY1 - Raindrop
KY1 - Sayonara
KY1 - Snowdrop
KY1 - Timeless
KY2 - Brass Quiet
KY2 - Brass Rich
KY4 - African Tube
KY4 - FM Celesta
KY4 - FM Rhodes Bright
KY4 - FM Rhodes Clean
KY4 - FM Wurli Clean
KY4 - FM Wurli Dirty
KY4 - Harpsitar
KY4 - Marimba
KY4 - Organ 60s
KY4 - Organ 70s
KY4 - Organ Church
KY4 - Pizzicato
KY4 - Storyteller

LEADS

LD1 - Ocarina
LD1 - Old Stories
LD2 - 5th Dimension
LD2 - Acid 303
LD2 - Computer Game
LD2 - Matrix
LD2 - Minimood
LD2 - Trembling
LD3 - Dual Supasaw
LD3 - Divinity
LD3 - Jupiter
LD3 - Stage I
LD3 - Stage II
LD3 - Stage III
LD3 - Stage IV
LD4 - Chipsound

PADS

PD1 - Dawning
PD1 - Dragon Tamer
PD1 - Heavenly Choir
PD1 - Nanase
PD1 - Nostalgia
PD1 - Sine Theta
PD2 - Awakening
PD2 - Future is Here
PD2 - King Analog
PD2 - Neon Lights
PD2 - We are the R
PD3 - Cyber One
PD3 - Cyber Two
PD3 - Outer Space
PD3 - Trans Square
PD3 - Trans Supersaw
PD3 - Trans Ultrasaw
PD4 - Ethnic Drone
PD4 - Sci Fi
PD4 - The Third Kind

PLUCKS (POLY)

PL1 - FM Mallet
PL1 - Glass Edge
PL1 - Left Behind
PL1 - SynthPizz
PL2 - Feather
PL2 - Moon Traveller
PL2 - Music I
PL2 - Music II
PL2 - Shinjuku
PL2 - Wall of China
PL3 - Mega Trans
PL3 - Nano
PL3 - Surface
PL4 - 8bit Computer
PL4 - Bitcoin
PL4 - Chocolate Planet

PLUCKS (MONO)

PM1 - Dewdrop
PM2 - Electric Town
PM2 - Harajuku
PM2 - Tokyo Endless
PM3 - AD 2300
PM3 - Franche Lippee
PM3 - Recess
PM4 - Chromosome

ARP/SEQUENCE

AR - Basic Saw
AR - COM64
SQ - 8th Monster Bass
SQ - 8th Talking Bass
SQ - 16th Iron Bass
SQ - 16th Scream
SQ - 16th Simple Bass
SQ - Acid 303
SQ - Butterfly Effect
SQ - Question One
SQ - Space Explorer

WOBBLES

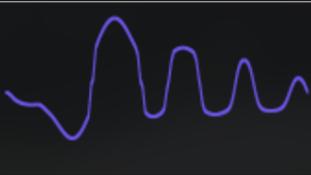
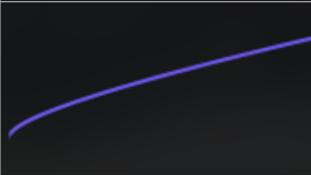
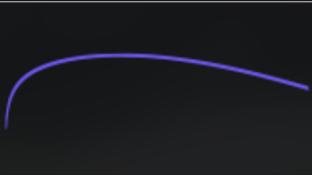
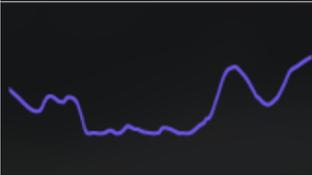
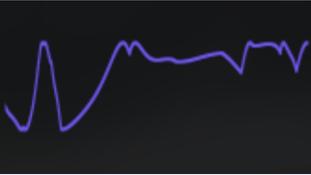
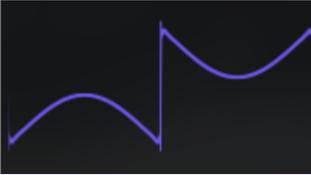
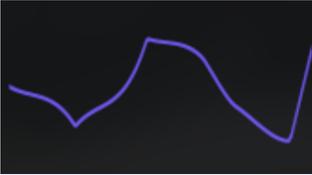
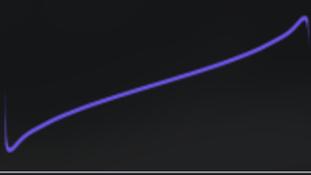
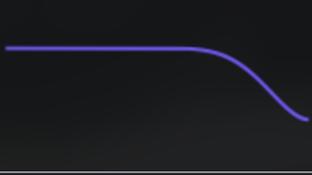
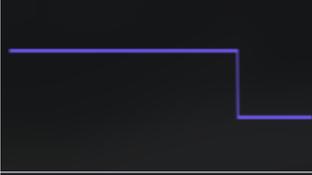
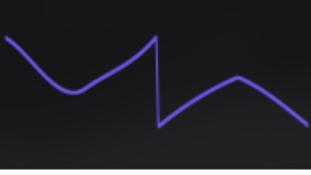
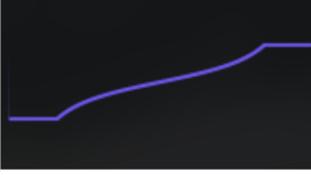
WB - Deadman's Q
WB - Gorgon
WB - Monster Machine
WB - Rabotnik I
WB - Robotnik II
WB - Robotnik III
WB - She is Hungry
WB - Synced Vox
WB - Voyvoy
WB - Zombies

ウェーブテーブル

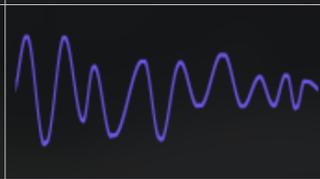
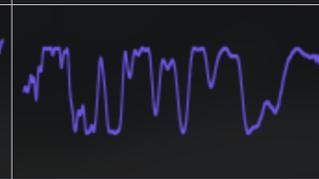
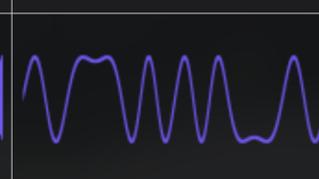
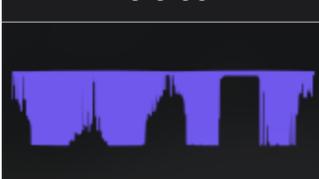
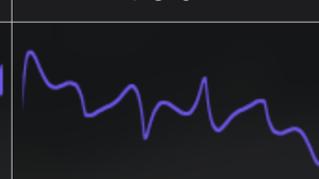
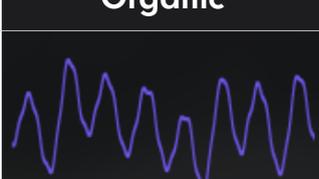
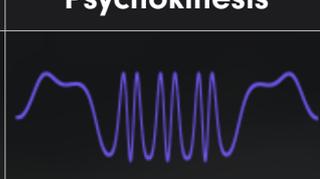
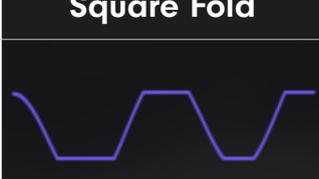
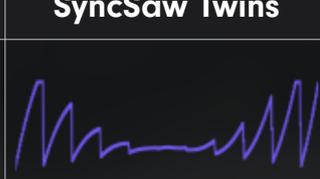
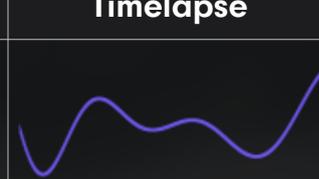
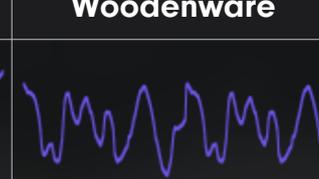
ほとんどのプリセットが、独自に作成したウェーブテーブルによって作られています。

*全てのウェーブテーブルはマルチテーブルです。アニメーションをここには掲載できないので、WTposが50%の状態の画像をキャプチャーして一覧にしました。

PM Analog

AcidSym 	Lin-Sqrt 	Log-Square 	Magmata I 
Magmata II 	Pulsaw Dist 	Saw Boomy 	Saw Creamy 
Saw Soft 	Saw Variable 	SeaShelf 	Square Std 
Square Valley 	Tangent-Linear 	Tri-HalfSaw 	ZigZag 

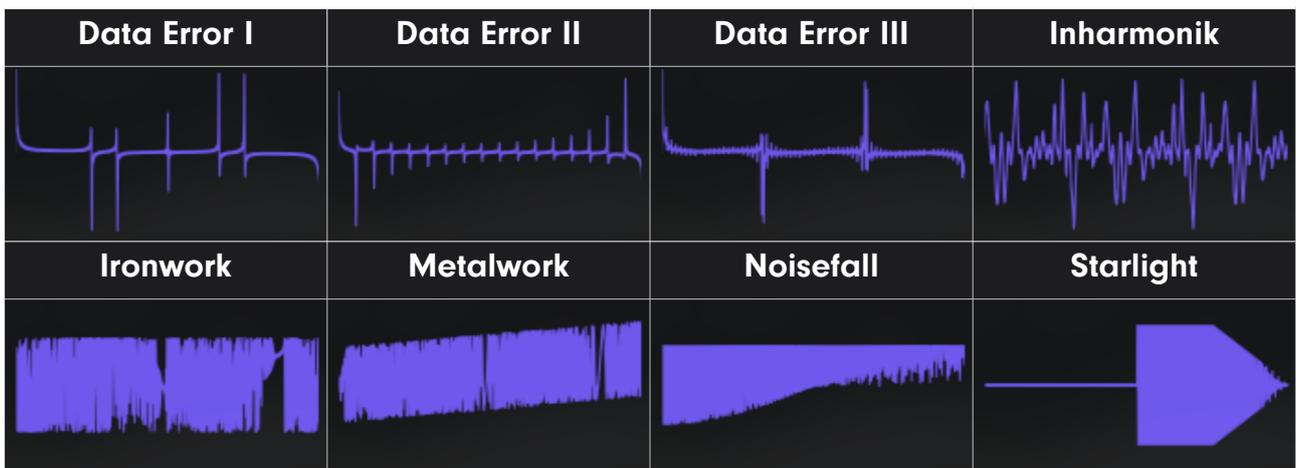
PM Digital

Alien lives 	Cello Synthetic 	ChainSaw 	Chimaera 
Close to You 	Cyclops 	DNA 	FM Sine 
Icicles 	Low Bit Saw 	Moses 	Mutant 
Organic 	Psychokinesis 	Sine Fold 	SinSaw Metallic 
Square Fold 	SyncSaw Twins 	Timelapse 	Woodenware 

PM Growl



PM Noise



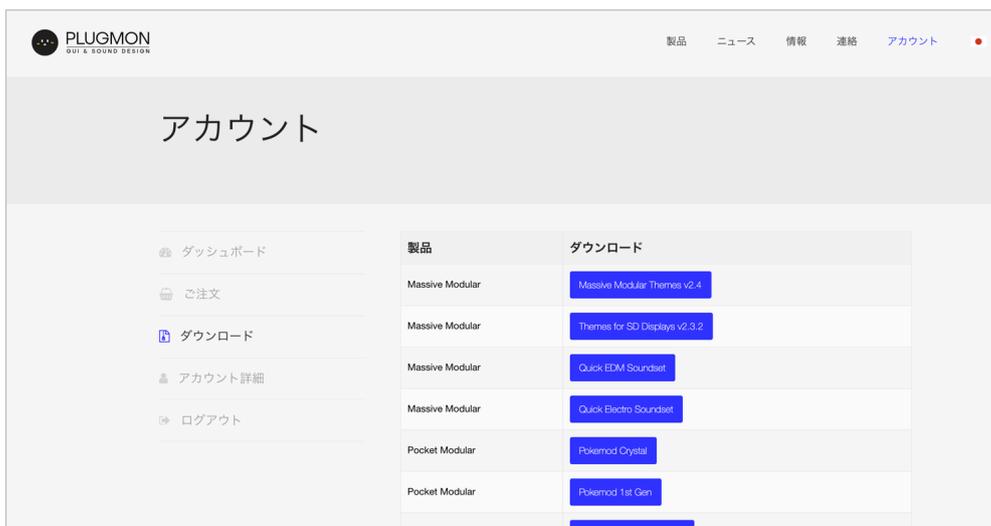
ダウンロードとアップデート

製品を再ダウンロードしたり、アップデートしたりは、ウェブサイトから可能です。
アカウントページはこちらのURLです：<https://plugmon.jp/my-account/>

メールアドレスとパスワードを入力してログインします。もしアカウントを作っていない場合は、作成する必要があります。その際には、購入のときに使用したメールアドレスを使用してください。そうすることによって、過去の購入履歴との紐付けがなされます。



ログイン後は、「ダウンロード」のタブに移動します。そこで、購入した製品を再ダウンロードすることができます。



製品	ダウンロード
Massive Modular	Massive Modular Themes v2.4
Massive Modular	Themes for SD Displays v2.3.2
Massive Modular	Quick EDM Soundset
Massive Modular	Quick Electro Soundset
Pocket Modular	Pokemod Crystal
Pocket Modular	Pokemod 1st Gen
Pocket Modular	Pokemod 2nd Gen

*何か問題が発生しましたら、[コンタクトページ](#)からご連絡ください。